

浜銀総研 News Release



横浜銀行グループ

2022年4月11日

神奈川県内企業の2022年春の賃上げ状況

—— 企業経営予測調査(2022年3月)特別調査結果 ——

要 旨

【中堅・中小企業における賃上げの動きはコロナ禍前に向けて戻りつつある】

神奈川県内の中堅・中小企業の2022年春の賃上げ状況について集計したところ、「賃上げを予定する」企業の割合は63.8%となった。この割合は、前年調査に比べ9.2ポイント上昇した。「賃上げを予定する」企業の割合は、コロナ禍を契機に2020年3月調査、2021年3月調査と2年連続して低下していたが、今回調査ではコロナ禍前に向けて戻りつつある。

【賃上げ幅は「前年並み」と回答した企業の割合が7割超】

「賃上げを予定する」企業に対して賃上げ幅を聞いたところ、「前年並み」と回答した企業の割合が71.9%(前年調査64.6%)となった。また、前年に比べて賃上げ幅を「拡大する」と回答した企業の割合は14.5%に上昇し、「縮小する」とした企業の割合は7.4%に低下した。前年調査では「縮小する」の割合が増加していたが、賃上げ幅についてもコロナ禍前の動きに戻りつつある。

【重視する項目として「雇用の維持・確保」と回答する企業が増加】

賃上げを検討する際に最も重視する項目は、「自社の業績」が58.8%(前年調査比7.9ポイント低下)と多く、次いで「雇用の維持・確保」が27.2%(同4.3ポイント上昇)となった。企業が重視する項目については、コロナ禍下の2020年3月調査、2021年3月調査では、「自社の業績」の割合が高まった。しかし今回は、コロナ禍前に見られた、「自社の業績」の割合が低下し、「雇用の維持・確保」の割合が上昇する傾向に回帰した。「雇用の維持・確保」と回答した企業の割合は、同じ内容で調査を行っている2010年以降で最も高くなっており、中堅・中小企業の人手不足感の強さを反映していると考えられる。

(注) 本調査結果は、神奈川県内の中堅・中小企業に対して実施した企業経営予測調査(2022年3月、対象企業:神奈川県内の中堅・中小企業1,114社[うち製造業364社、非製造業750社]、回答企業387社[うち製造業135社、非製造業252社]、回収率34.7%)のなかで、特別調査として今春の賃上げ状況に関する質問を設け、その回答を集計したものである。

【本件についてのお問い合わせ先】
㈱浜銀総合研究所 調査部 城 浩明
TEL. 045-225-2375

(賃上げを予定する企業の割合)

神奈川県内の中堅・中小企業に今春の賃上げ状況について尋ねたところ、賃上げを「実施する」企業の割合が47.7% (前年調査36.9%)、「一部実施する」企業の割合が16.1% (同17.7%)となっており、両者をあわせた「賃上げを予定する」企業の割合は63.8% (同54.6%)となった。「賃上げを予定する」企業の割合は、コロナ禍が発生して以降、2020年3月調査、2021年3月調査と2年続けて低下していたが、今回はコロナ禍前に向けて戻りつつあるとみることができる。また、賃上げを「実施しない」企業の割合についても、18.2%と昨年(29.7%)に比べて大きく低下して、コロナ禍前の水準に戻った。

コロナ禍の発生から2年が経過し、リモートワークなどを含めコロナ禍と共存する新たな働き方を模索する中で、後述するように雇用維持等の観点からも、賃上げを実施する企業が増加したものと考えられる。

製造業・非製造業別にみると、「賃上げを予定する」企業の割合は、製造業が67.2%と前年調査から3.4ポイント上昇、非製造業では62.0%と同12.4ポイント上昇となった。また、賃上げを実施しない企業の割合は、製造業で11.9% (前年調査比5.5ポイント低下)、非製造業で21.6% (同14.9ポイント低下)となった。資源価格の高騰や部品調達不足などの影響により、製造業のほうが非製造業に比べて、相対的に景況感の悪化の程度が大きいことから、「賃上げを予定する」企業の割合の上昇幅が小さくなったと考えられる。

2022年春の賃上げ実施予定

(上段:回答社数、下段:回答社数構成比、%)

	賃上げを予定する			実施しない	賃下げを実施する	未定	回答社数(社)
	実施する	一部実施する					
全産業	245 (63.8)	183 (47.7)	62 (16.1)	70 (18.2)	3 (0.8)	66 (17.2)	384
製造業	90 (67.2)	73 (54.5)	17 (12.7)	16 (11.9)	0 (0.0)	28 (20.9)	134
非製造業	155 (62.0)	110 (44.0)	45 (18.0)	54 (21.6)	3 (1.2)	38 (15.2)	250

(注) 構成比は四捨五入のため合計が100と一致しないことがある。以下の図表も同じ。

◎全産業

(回答社数構成比、%)

(各年3月調査)	賃上げを予定する			実施しない	賃下げを実施する	未定	回答社数(社)
	実施する	一部実施する					
2013年	49.0	31.4	17.6	28.1	0.8	22.1	506
2014年	53.3	31.4	21.9	25.9	0.2	20.6	471
2015年	57.5	33.8	23.7	22.3	0.4	19.7	452
2016年	57.5	37.4	20.0	22.5	0.7	19.3	414
2017年	61.1	41.3	19.8	19.6	0.5	18.8	406
2018年	64.6	46.0	18.5	17.5	0.0	18.0	378
2019年	66.8	48.9	17.9	17.6	0.0	15.5	425
2020年	64.5	47.3	17.1	20.5	0.5	14.6	391
2021年	54.6	36.9	17.7	29.7	0.5	15.1	390
2022年	63.8	47.7	16.1	18.2	0.8	17.2	384

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

◎製造業・非製造業 (回答社数構成比、%)

(各年3月調査)	賃上げを予定する			実施しない	賃下げを実施する	未定	回答社数(社)
	実施する	一部実施する					
製造業							
2018年	73.7	57.7	16.0	10.3	0.0	16.0	156
2019年	78.5	65.2	13.3	8.2	0.0	13.3	158
2020年	71.1	55.7	15.4	15.4	0.0	13.4	149
2021年	63.8	41.3	22.5	17.4	0.7	18.1	138
2022年	67.2	54.5	12.7	11.9	0.0	20.9	134
非製造業							
2018年	58.1	37.8	20.3	22.5	0.0	19.4	222
2019年	59.9	39.3	20.6	23.2	0.0	16.9	267
2020年	60.3	42.1	18.2	23.6	0.8	15.3	242
2021年	49.6	34.5	15.1	36.5	0.4	13.5	252
2022年	62.0	44.0	18.0	21.6	1.2	15.2	250

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

(賃上げを予定する企業の賃上げ幅)

賃上げの実施を予定する企業に前年と比べた賃上げ幅について聞いたところ、「前年並み」とする企業の割合が71.9% (前年調査64.6%) に高まった。また、「拡大する」と回答した企業の割合が14.5% (同8.5%) に高まった一方で、「縮小する」と回答した企業の割合は7.4% (同20.3%) に低下した。前年と前々年の調査では「縮小する」という企業の割合が高まり、「拡大する」という企業の割合は10%以下となっていたが、今回の調査では「拡大する」の割合が3年ぶりに10%超になっており、コロナ禍前の動きに戻りつつあるとみてよからう。

製造業・非製造業別にみると、製造業では「拡大する」と回答した企業の割合が17.0% に上昇し、「縮小する」とした企業の割合が10.2% に低下した。また、非製造業についても「拡大する」とした企業の割合が13.0% に上昇し、「縮小する」とした企業の割合が5.8% に低下した。製造業、非製造業ともに「前年並み」とする企業の割合が大勢を占める一方で、製造業については「拡大する」の上昇幅、「縮小する」の低下幅ともに、非製造業のそれを上回る変化であり、製造業のほうがより積極的に賃上げ幅に変化を持たせている企業が多いことが確認できよう。

前年と比べた賃上げ幅

(上段:回答社数、下段:回答社数構成比、%)

	拡大する	前年並み	縮小する	未定	回答社数計
全産業	35 (14.5)	174 (71.9)	18 (7.4)	15 (6.2)	242
製造業	15 (17.0)	59 (67.0)	9 (10.2)	5 (5.7)	88
非製造業	20 (13.0)	115 (74.7)	9 (5.8)	10 (6.5)	154

(注) 未回答の企業があるため、賃上げを予定する企業数と一致しない。

◎全産業 (回答社数構成比、%)

(各年3月調査)	拡大する	前年並み	縮小する	未定	回答社数(社)
2013年	10.1	65.2	15.0	9.7	247
2014年	18.0	64.0	4.4	13.6	250
2015年	15.2	65.2	9.8	9.8	256
2016年	10.3	71.4	10.3	8.1	234
2017年	11.8	72.4	9.8	6.1	245
2018年	15.7	71.5	7.4	5.4	242
2019年	12.4	68.6	9.5	9.5	283
2020年	7.6	69.3	12.7	10.4	251
2021年	8.5	64.6	20.3	6.6	212
2022年	14.5	71.9	7.4	6.2	242

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

◎製造業・非製造業 (回答社数構成比、%)

(各年3月調査)	拡大する	前年並み	縮小する	未定	回答社数(社)
製造業					
2018年	18.3	70.4	7.0	4.3	115
2019年	16.1	62.1	8.9	12.9	124
2020年	4.7	67.0	19.8	8.5	106
2021年	3.4	65.5	24.1	6.9	87
2022年	17.0	67.0	10.2	5.7	88
非製造業					
2018年	13.4	72.4	7.9	6.3	127
2019年	9.4	73.6	10.1	6.9	159
2020年	9.7	71.0	7.6	11.7	145
2021年	12.0	64.0	17.6	6.4	125
2022年	13.0	74.7	5.8	6.5	154

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

(賃上げを検討する際に重視する項目)

賃上げを検討する際に最も重視する項目を尋ねたところ、「自社の業績」が58.8% (前年調査66.7%)と最も多く、次いで「雇用の維持・確保」(27.2%、前年調査22.9%)が続いた。前年調査と比較すると、「自社の業績」をあげる企業の割合が低下し、「雇用の維持・確保」が上昇した。「雇用の維持・確保」の割合は、同じ内容で調査を行っている2010年以降で最も高くなっており、中堅・中小企業の人手不足感の強さを反映していると考えられる。

賃上げを検討する際に重視する項目については、コロナ禍の発生に伴って、2020年3月調査及び2021年3月調査では「自社の業績」の優先順位が高まった。しかし今回は、「自社の業績」の割合が低下し、「雇用の維持・確保」の割合が上昇する傾向に回帰した形である。なお、製造業、非製造業別では、非製造業のほうが製造業に比べて「雇用の維持・確保」の割合の高まりが急であり、人手不足感の強い非製造業において「雇用の維持・確保」の優先順位の高まりがあると考えられる。

賃上げを検討する際に重視する項目

(上段:回答社数、下段:回答社数構成比、%)

	自社の業績	雇用の維持・確保	世間相場	社員の生活	その他	回答社数計
全産業	223 (58.8)	103 (27.2)	17 (4.5)	30 (7.9)	6 (1.6)	379
製造業	78 (58.6)	35 (26.3)	7 (5.3)	11 (8.3)	2 (1.5)	133
非製造業	145 (58.9)	68 (27.6)	10 (4.1)	19 (7.7)	4 (1.6)	246

◎全産業 (回答社数構成比、%)

(各年3月調査)	自社の業績	雇用の維持・確保	世間相場	社員の生活	その他	回答社数(社)
2013年	76.3	11.6	3.6	7.8	0.7	447
2014年	62.2	18.3	4.4	13.9	1.2	251
2015年	70.9	16.2	3.3	8.1	1.5	395
2016年	66.7	18.3	3.1	10.1	1.8	387
2017年	68.8	20.5	3.5	6.0	1.3	397
2018年	65.1	22.0	4.1	7.1	1.6	364
2019年	62.8	25.1	3.8	7.1	1.2	422
2020年	64.4	24.9	3.6	5.7	1.3	385
2021年	66.7	22.9	1.8	7.6	1.0	384
2022年	58.8	27.2	4.5	7.9	1.6	379

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

◎製造業・非製造業 (回答社数構成比、%)

(各年3月調査)	自社の業績	雇用の維持・確保	世間相場	社員の生活	その他	回答社数(社)
製造業						
2018年	68.2	22.1	3.2	4.5	1.9	154
2019年	66.0	22.0	4.4	7.5	0.0	159
2020年	69.1	22.1	2.7	6.0	0.0	149
2021年	64.7	25.0	2.2	7.4	0.7	136
2022年	58.6	26.3	5.3	8.3	1.5	133
非製造業						
2018年	62.9	21.9	4.8	9.0	1.4	210
2019年	60.8	27.0	3.4	6.8	1.9	263
2020年	61.4	26.7	4.2	5.5	2.1	236
2021年	67.7	21.8	1.6	7.7	1.2	248
2022年	58.9	27.6	4.1	7.7	1.6	246

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

(今夏のボーナス支給について)

最後に、今夏のボーナス支給について尋ねたところ、支給するとした企業の割合は87.5%となり、前年調査から4.7ポイントの増加となった。賃上げ幅の質問と同様に「前年並み」とする企業の割合が42.7% (前年調査36.7%) となり最も高いものの、「増加」とする企業の割合が13.8% (同8.2%) と上昇し、「減少」とする企業の割合は8.6% (同14.1%) に低下した。なお、支給を予定するものの「金額未定」とする企業の割合は22.4% (同23.8%) あり、事業環境の不透明感を反映しているものとみられる。

今夏のボーナス支給について

(上段:回答社数、下段:回答社数構成比、%)

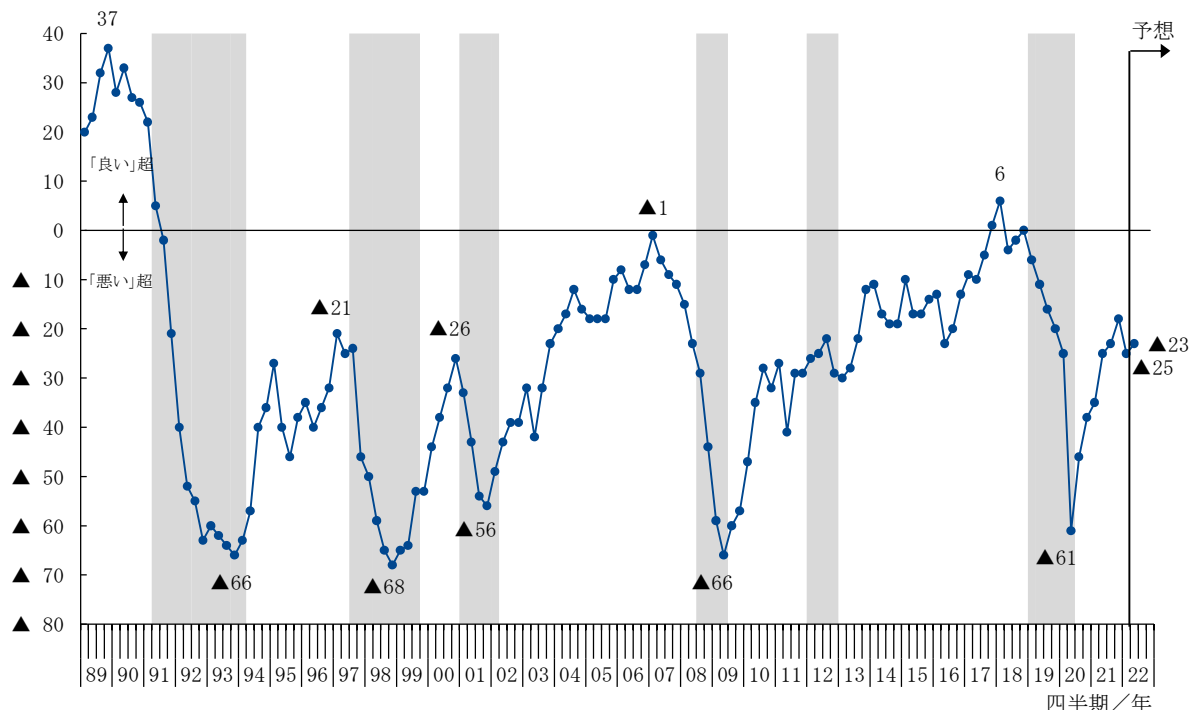
	支給する					支給しない	未定	ボーナス制度がない	回答社数(社)
	増加	前年並み	減少	金額未定					
全産業	336 (87.5)	53 (13.8)	164 (42.7)	33 (8.6)	86 (22.4)	7 (1.8)	29 (7.6)	12 (3.1)	384
製造業	119 (88.8)	24 (17.9)	51 (38.1)	11 (8.2)	33 (24.6)	1 (0.7)	12 (9.0)	2 (1.5)	134
非製造業	217 (86.8)	29 (11.6)	113 (45.2)	22 (8.8)	53 (21.2)	6 (2.4)	17 (6.8)	10 (4.0)	250

(注) 四捨五入のため合計が一致しないことがある。

以上

(ご参考) 業況判断D.I.の推移

業況が「良い」－「悪い」
回答社数構成比、%ポイント



注1： 各年の調査月は3、6、9、12月。

注2： 網掛けは神奈川県景気後退期を示す。直近の網掛けは県の暫定判断などを基に浜銀総研が仮置き。

(業況判断D.I.: 業況が「良い」－「悪い」の回答社数構成比、%ポイント)

	2020年 9月末	2020年 12月末	2021年 3月末	2021年 6月末	2021年 9月末	2021年 12月末	2022年 3月末	2022年 6月末 (予想)
全産業	▲ 46	▲ 38	▲ 35	▲ 25	▲ 23	▲ 18	▲ 25 (▲ 16)	▲ 23
製造業	▲ 63	▲ 47	▲ 41	▲ 22	▲ 20	▲ 16	▲ 29 (▲ 11)	▲ 16
一般機械	▲ 67	▲ 48	▲ 29	▲ 26	▲ 17	▲ 11	▲ 27 (▲ 19)	▲ 36
電気機械	▲ 52	▲ 52	▲ 45	▲ 38	▲ 29	▲ 20	▲ 27 (▲ 5)	▲ 18
電子部品・デバイス	▲ 50	▲ 36	▲ 10	38	13	60	50 (50)	50
輸送機械	▲ 75	▲ 48	▲ 38	▲ 19	▲ 40	▲ 34	▲ 60 (▲ 21)	▲ 16
食料品	▲ 40	▲ 18	▲ 56	▲ 22	0	20	▲ 50 (10)	▲ 25
鉄鋼・非鉄	▲ 60	▲ 30	▲ 14	44	13	0	0 (14)	17
金属製品	▲ 77	▲ 50	▲ 37	▲ 24	▲ 12	▲ 29	▲ 25 (▲ 24)	▲ 6
非製造業	▲ 35	▲ 33	▲ 32	▲ 27	▲ 24	▲ 20	▲ 23 (▲ 18)	▲ 28
建設	▲ 20	▲ 7	▲ 13	▲ 16	▲ 20	▲ 13	▲ 11 (▲ 16)	▲ 25
不動産	▲ 18	▲ 20	▲ 22	▲ 17	▲ 19	5	0 (5)	▲ 15
運輸・倉庫	▲ 61	▲ 57	▲ 35	▲ 27	▲ 13	▲ 45	▲ 30 (▲ 41)	▲ 30
卸売	▲ 56	▲ 57	▲ 50	▲ 23	▲ 9	▲ 45	▲ 35 (▲ 34)	▲ 38
小売	▲ 12	▲ 25	▲ 31	▲ 31	▲ 34	▲ 15	▲ 29 (▲ 24)	▲ 32
飲食店・宿泊	▲ 77	▲ 71	▲ 79	▲ 82	▲ 75	▲ 44	▲ 83 (▲ 19)	▲ 67
サービス	▲ 51	▲ 42	▲ 37	▲ 32	▲ 26	▲ 9	▲ 8 (▲ 9)	▲ 8

注: カッコ内は前回2021年12月調査(確報値)時点における2022年3月末予想である。データは4月4日確報値。

なお、回答企業数が少ない業種は表示していない。

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。